

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
放課後等デイサービス げんき		令和 8年 3月 28日			
		チェック項目		工夫している点・改善が必要だと思われる点	
		はい	いいえ		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	3	活動に応じて机などの配置を変えて安全に活動できるように心がけています
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		利用者の状況に応じて適切な職員配置をしています
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		室内はバリアフリーになっています わかりやすく写真や絵・文字で表示しています 棚の角にクッション材を貼っています
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		事業所内の清掃や備品・おもちゃなどの消毒は毎日行っています 利用時は換気と手洗いをこまめに行っています
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		個室はいつでも使用できるようにしています
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8		全職員が周知徹底できるように努めています
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		改善につなげられるように努めています が至らない所もあり、今後も改善につなげられるように努めます
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		ミーティングで意見交換を行い業務改善につなげています
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		8	現在外部評価は行っていません
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		研修動画を活用し、全職員が研修に参加できるようにしています
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		来年度に向けて作成中
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		今後も保護者様と連絡、面談をし更に良い支援を行えるようにします
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		担当者会議を行い、目標、課題等、職員を共通意識のもと支援につなげています
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		全職員で共有し行っています
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		保護者からの聞き取りや利用者の状態や経過を追ってアセスメントしています
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		自立支援・日常生活の充実のために平日と休日と分けて基本活動などを組み合わせています 5領域の内容について職員全員が周知できるようにします
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		職員会議で話し合いを行い、内容を決めています
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		全職員で話し合い改善点等を見直し予定を立てています

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		計画に沿って個々の状況に応じて個別・集団活動の支援を行っている
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		毎日支援開始前に確認を行っています
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		送迎後職員で振り返りを行っています
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		支援記録、連絡帳で記録を残し、支援の改善につなげられるよう確認や見直しを行っています
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		日々の支援の情報も合わせてモニタリングを行い支援の見直しを判断していきます
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8		ガイドラインに沿って複数組み合わせ支援を行っています
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		個々の状況に応じて自己選択・自己決定できるよう支援をおこなっています
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		児童の状況把握のできている職員が参加しています
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		学校や相談支援、障害福祉等連携をとり本児が安心して過ごせるように情報共有しています
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		学校との情報共有や連絡は必要に応じて行っています
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8		スマイルブックでの引継ぎや保護者からの聞き取り、児童発達支援事業所とは連携を取っていますが、保育園や幼稚園、子ども園との連携は難しい状態です 今後は情報共有に努めていきたい
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8		該当する児童がいません
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8		専門機関との情報交換を通じて助言を頂けるように努めます
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	7	地域の子どもが参加する活動を計画したことはありません
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8		自立支援協議会等へ参加し情報共有しています
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		連絡帳や送迎時に伝えていますが、必要に応じて個別に連絡をとるなど対応しています
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8		必要に応じて面談や電話などでデイと同じように家庭でも行えるように共通理解を行っていますが、家族の参加できる研修等はできていません
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		契約時に説明しています
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		子どものニーズを最優先に考え、家族の意向も反映させながら計画書を作成しています
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8		児童発達支援管理責任者が計画書を提示し説明後、同意を得ています
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		送迎後に保護者の方に声をかけ、面談や電話など時間を持つようになっています ラインでも対応しています

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	1	7	保護者会は行っていません 希望があれば開催できるように検討します
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		苦情があった場合には速やかに適切な対応をするように心掛けています
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8		ラインでの発信に偏りがちになるため、今後は通信やHPの活用を増やしたいです
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		個人情報の関係書類は全て鍵付き書庫で保管しています
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		曖昧な表現はせずわかりやすい言葉を使うなど視覚化し意思の伝達を図っています
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	7	行事に地域住民を招待したことはない
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		マニュアルは職員間では周知されていますが、保護者への周知には至っていません
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		様々な災害を想定してその災害に合わせた非難が適切に行われるように訓練の回数を増やしていきます
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8		フェイスシート、保護者からの情報で確認しています
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		アレルギーについては医師の診断書が前提の保護者からの情報を元に対応しています
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		必要な研修、訓練は行っています
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		安全計画の内容を保護者にもしっかり周知してもらえる方法を工夫していきます
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		ヒヤリハット事例を職員全員で共有し再発防止に努めています
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		虐待防止のためのチェックリストを作成し、社内研修を行っています
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8		必要な研修を行い、重要事項説明書に明記しています	